

ことわざ

怪我の功名

け



怪我の功名
当初は過失や災難と思われたことが、思い掛けなく好結果をもたらすことが、また、なにげなくしたことが、偶然にも好結果となること。



逆鱗

け



逆鱗
激しく怒ること。普通、目上の人が目下の者を怒る場合に用いる。



後悔先に立たず

こ



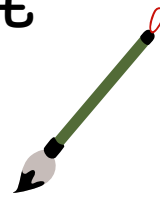
後悔先に立たず
既にしてしまったことは、後から悔いても、もう取り返しが付かない。

後悔先に立たず



弘法も筆の誤り

こ



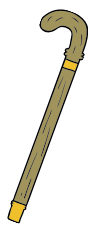
弘法も筆の誤り
弘法大師のような書道の名人でも書き損じをすることがある。その道に長じた人でも時には失敗を犯すことがあるという喩え。

弘法も筆の誤り



転ばぬ先の杖

こ



転ばぬ先の杖
避けて転ぶ前にあらかじめ杖を突くという意味で、事前に注意していれば失敗しないであろうということ。



転ばぬ先の杖

策士策に溺れる

さ



策士策に溺れる
はかりごと(もくろみ)の上手な人は、はかりごとを使いすぎることで、かえって失敗してしまうことになる。

策士策に溺れる



猿も木から落ちる

さ



猿も木から落ちる
その道に精通するプロであっても、時には失敗をしまうこともあるという例え。



猿も木から落ちる

去る者は追わず

さ



去る者は追わず
自分の元から離れ去っていく人は、その人の意志に任せ、無理に引き止めない、自由意志を尊重することがかえって、上手くいくことも多いことから来る言葉。

去る者は追わず

